

『キリスト教社会問題研究』執筆者別総目次  
創刊号(1958年)～第50号(2001年)

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
赤松美和	論説	1920年代のフレンド平和奨学金制度(Friend Peace Scholarship)とハワイのアメリカ化	49	2000	1-45	
秋定嘉和	論説	「存娼論」の主張と行動	37	1989	487-502	杉井六郎教授退職記念号
秋定嘉和	論説	1934年前後の廃娼運動	39	1991	50-71	
秋定嘉和	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	117-118	
CARY, Otis	論説	Fighting to a Finish: The Politics of War Termination in the United States and Japan, 1945	37	1989	5-9	杉井六郎教授退職記念号
同志社大学キリスト教社会問題研究会	その他	研究会趣意書と現況	1	1958	41-42	
土肥昭夫	論説	内村鑑三の無教会論	5	1961	10-20	内村鑑三生誕百年記念特集
土肥昭夫	論説	日本最初のプロテスタント教会	8	1964	24-33	
土肥昭夫	論説	三教会同(1)-政治・教育・宗教との関連において-	11	1967	90-115	
土肥昭夫	論説	大正デモクラシー期におけるキリスト者の政治論	13	1968	1-33	特集 大正期の研究
土肥昭夫	論説	三教会同(2)-政治・教育・宗教との関連において-	14, 15	1969	72-93	
土肥昭夫	論説	小崎弘道の思想と行動	16, 17	1970	1-37	
土肥昭夫	論説	1930年代における日本基督教会の活動	22	1974	140-160	
土肥昭夫	論説	1930年代における日本基督教会の活動(ニ)	23	1975	146-175	
土肥昭夫	論説	1930年代のプロテスタント・キリスト教界(1)	25	1976	187-217	
土肥昭夫	論説	1930年代のプロテスタント・キリスト教界(2)-諸教派の動向-	27	1978	98-133	
土肥昭夫	論説	逸見芹吉のこと	30	1982	220-243	
土肥昭夫	論説	天皇の代替わりとキリスト教-1920年代のケースより-	37	1989	219-230	杉井六郎教授退職記念号
土肥昭夫	論説	新島襄の教会政治論	42	1993	1-24	
土肥昭夫	資料	初期の小崎弘道日記(1)	47	1998	163-198	
土肥昭夫	資料	初期の小崎弘道日記(2)	48	1999	186-217	
土肥昭夫	資料	初期の小崎弘道日記(3)	49	2000	206-242	
土肥昭夫	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	118-120	
枝光泉	論説	日本バプテスト神学校について	47	1998	108-135	
枝光泉	論説	日本バプテスト西部教会の歴史-「アサ会」事件について-	48	1999	102-124	
葛井義憲	論説	霊性の人、石井十次	37	1989	371-388	杉井六郎教授退職記念号
葛井義憲	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	121-122	
藤代泰三	研究ノート	本田庸一とウェスレー『キリスト者の完全』	14, 15	1969	188-212	

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
藤代泰三	論説	『七一雑報』における神学思想 ーキリスト教と文化ー	30	1982	19-35	
藤代泰三	論説	キリスト教史の課題と方法	37	1989	819-834	杉井六郎教授退職 記念号
深田未来生	論説	C.A.ローガンとH.W.マイヤースー 賀川豊彦を巡る宣教師達ー	32	1984	129-145	
福永郁雄	論説	明治九年のニューヨークのこと などー歴史をめぐる二、三の感想ー	37	1989	551-566	杉井六郎教授退職 記念号
萩原俊彦	論説	新島襄の墓碑と同志社人	37	1989	119-132	杉井六郎教授退職 記念号
萩原俊彦	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	122-124	
橋本滋男	研究ノート	海老名における聖書理解	23	1975	176-182	
畠中暁子	論説	『廓清』における優生思想の影響 と論議の展開ーリプロダクティ ブライツと障害者の生きる権利 の狭間を考える端緒としてー	49	2000	122-143	
畠中暁子	論説	『廓清』における産児調節論の 展開	50	2001	73-94	
畠中暁子	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	125	
林達夫	論説	戦時下の『上毛教界月報』ーと くに柏木義円の非戦、平和の言 論を中心にー	37	1989	635-650	杉井六郎教授退職 記念号
林葉子	論説	「市民」が「国民」になるとき ー久布白落実における「ホーム」 論の展開ー	50	2001	1-30	
編集部	その他	研究室だより	2	1958	59	
編集部	その他	研究室だより	3	1959	53	
編集部	その他	研究室だより	4	1961	81	
編集委員	資料	ねず まさし『世界文化』と 『土曜日』に関する書簡	11	1967	269-273	
編集委員	特集	松本平におけるキリスト教ー井 口喜源治と研成義塾の資料年表 ーはしがき	19	1971	1-3	特集 松本平にお けるキリスト教
編集委員	特集	松本平におけるキリスト教ー井 口喜源治と研成義塾の資料年表 ー解説	19	1971	4-13	特集 松本平にお けるキリスト教
編集委員	特集	松本平におけるキリスト教ー井 口喜源治と研成義塾の資料年表 ー資料年表	19	1971	14-176	特集 松本平にお けるキリスト教
平林一	論説	蘆花と現代文学	1	1958	24-33	徳富蘆花特集
平林一	論説	大江義塾	8	1964	34-48	
平林一	論説	『美・批評』の人びとー『世界文 化』研究(一)ー	9	1965	80-96	『戦時下抵抗の研 究』特集
平林一	論説	『世界文化』と『土曜日』ー『世 界文化』研究(二)ー	10	1966	14-38	『戦時下抵抗の研 究』特集
平林一	論説	研成義塾と文学	37	1989	189-204	杉井六郎教授退職 記念号

C S 執筆別総目次

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
平林 一	紹介	小説「仮寓」について	19	1971	177-182	特集 松本平におけるキリスト教
飯田 耕二郎	研究ノート	移民の先駆者・星名謙一郎の生涯	32	1984	146-172	
飯田 耕二郎	研究ノート	同志社出身の初期ハワイ伝道者の足跡	34	1986	103-153	海外移民研究特集
飯田 耕二郎	論説	「福音会沿革史料」について	37	1989	567-584	杉井六郎教授退職記念号
飯沼 二郎	論説	初期『新人』における海老名と渡瀬	24	1976	18-49	
飯沼 二郎	論説	大東亜戦争とキリスト教—晩年の渡瀬常吉—	30	1982	431-454	
飯沼 二郎	論説	日本農村伝道史序説(1)	35	1987	1-47	
飯沼 二郎	論説	日本農村伝道史序説(2)	36	1988	147-207	
飯沼 二郎	論説	新渡戸稲造と矢内原忠雄	37	1989	401-414	杉井六郎教授退職記念号
今井 小の実	論説	平塚らいてうの「新婦人協会」とセツメント事業—賀川豊彦を媒介として—	48	1999	151-185	
今井 小の実	論説	社会民衆婦人同盟の母子扶助法制定運動—働く女性たちの児童／母性保護の要求と山川菊栄の播いた種—	49	2000	178-205	
今井 小の実	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	126-127	
今中 寛司	論説	横井小楠の実学と西教	4	1961	8-23	熊本バンドの研究特集
今中 寛司	論説	竹崎律次郎	7	1963	25-47	熊本バンドの研究特集
今中 寛司	論説	山路愛山の思想とキリスト教—「日本思想史上におけるキリスト教の位置」—	11	1967	169-196	
今中 寛司	論説	山路愛山の国家社会主義史観	12	1968	87-115	特集 民友社の研究
今中 寛司	論説	徳富一敬の入信とその思想遍歴	18	1971	1-26	特集 民友社の研究
今中 寛司	論説	海老名弾正のキリスト教信仰とその思想—その楽天的積極主義神学—	23	1975	1-27	
今中 寛司	論説	小崎弘道の『政教新論』について	30	1982	1-18	
今谷 逸之助	論説	森田久萬人の哲学	7	1963	55-90	熊本バンドの研究特集
今谷 逸之助	論説	元良勇次郎の心理学と哲学	11	1967	197-216	
今谷 逸之助	研究ノート	深井英五について—その信仰と思想—	12	1968	116-140	特集 民友社の研究
井上 勝也	論説	留岡幸助 人と思想(一)	23	1975	116-145	
井上 勝也	論説	留岡幸助の教育思想	28	1980	77-95	留岡幸助研究特集
井上 勝也	論説	アメリカ時代の新島襄研究II—J・H・シーリー教授—	37	1989	43-52	杉井六郎教授退職記念号

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
石井紀子	論説	中部ウーマンズ・ボードの自立への動きーアメリカン・ボードとの関係において(1868-1910)ー	47	1998	81-107	
石附実	論説	翻訳教育書『那然 小学教育論』の一考察	37	1989	691-702	杉井六郎教授退職記念号
一色哲	研究ノート	キリスト教と自由民権運動の連携・試論ー岡山と高梁を事例にー	43	1994	134-165	
一色哲	論説	メディアとしての音楽幻燈隊と岡山孤児院	44	1995	49-66	
伊藤彌彦	論説	臣民教育ならびに「徳育」的発想の諸問題	27	1978	1-44	
伊藤彌彦	論説	牢絡敬重の道ー井上毅と宗教ー	30	1982	112-126	
伊藤彌彦	論説	新島襄の函館紀行	37	1989	29-42	杉井六郎教授退職記念号
伊藤彌彦	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	128	
岩井文男	資料	同志社労働者ミッション並びに日本労働者ミッション成立前後ー中島重先生の書簡をめぐってー	30	1982		
笠原芳光	論説	日本基督教団成立の問題(Ⅰ)ー宗教統制に対する抵抗の問題としてー	10	1966	78-106	戦時下抵抗の研究特集
笠原芳光	論説	柏木義円の内村鑑三批判	13	1968	123-144	特集 大正期の研究
笠原芳光	論説	背教の論理ー有島武郎の場合ー	20	1972	75-102	
笠原芳光	論説	「日本的キリスト教」批判	22	1974	114-139	
笠原芳光	論説	海老名弾正と柏木義円	24	1976	50-82	
笠原芳光	論説	井上良雄の転向	25	1976	83-107	
笠原芳光	論説	文化的キリスト教から社会的キリスト教へー米澤尚三の思想的展開ー	27	1978	45-75	
笠原芳光	論説	羽仁吉一の先祖と郷里	29	1981	155-189	
笠原芳光	論説	『六合雑誌』と『青年之友』における羽仁吉一	30	1982	182-199	
笠原芳光	論説	週刊紙としての『七一雑報』	31	1983	77-108	
笠原芳光	論説	文人キリスト者別所梅之助	37	1989	415-432	杉井六郎教授退職記念号
笠原芳光	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	129-131	
笠井昌昭	論説	「皇極期」元年条の祈雨記事をめぐって	37	1989	667-676	杉井六郎教授退職記念号
片野真佐子	資料	非戦の思想とその継承ー柏木義円関係資料(未公刊)の周辺ー	45	1996	140-165	
加藤明美	論説	『七一雑報』の「養生法」と宣教医ペリー	37	1989	169-178	杉井六郎教授退職記念号
河崎洋子	書評	和田洋一編『同志社の思想家たち』	10	1966	150-154	
木原活信	論説	石井十次にみるジョージ・ミュラー観の変遷過程	45	1996	1-27	

C S 執筆別総目次

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
菊地 義昭	論説	濃尾震災での救済と岡山孤児院の運営体制	48	1999	47-101	
金文吉	研究ノート	海老名弾正の朝鮮伝道と日本化問題について	46	1998	230-266	
北垣 宗治	論説	新島襄のホランドあての手紙	37	1989	3-28	杉井六郎教授退職記念号
小林 仁美	論説	日露戦後における留岡幸助の思想と行動-地方改良事業・感化救済事業に対する主体的意図-	39	1991	72-97	
国生 寿	論説	日本文学会について-「米国シヨトクワ学会日本支会」の活動-	35	1987	48-74	
河野 仁昭	論説	『日本浪漫派』と『四季』-1930年代における文学の一面-	22	1974	51-82	
河野 仁昭	論説	石川啄木とキリスト教	30	1982	305-325	
河野 仁昭	論説	新島襄と徳富蘆花	37	1989	85-100	杉井六郎教授退職記念号
郡 定也	研究ノート	中井正一-研究の視点-全集刊行に絡めて-	10	1966	130-144	
工藤 弘志	論説	戦時下の『基督教世界』を読む-1936年から1941年までの、天皇制および戦争関連記事-	42	1993	25-55	
倉橋 克人	研究ノート	戦後キリスト教の道標-賀川豊彦と戦後天皇制-	44	1995	67-104	
倉橋 克人	論説	寺島信恵と神戸養老院-賀川豊彦を支えた一女性像-	49	2000	144-177	
オースル・ランダ	研究ノート	『六合雑誌』における諸宗派に対する態度-1880年から1890年までを中心として-	27	1978		
丸山 宏	論説	黎明期の公園観	37	1989	703-716	杉井六郎教授退職記念号
三井 久	論説	日本組合教会について	24	1976	1-17	
宮井 敏	論説	運動の先進的部分における矛盾について-柳宗悦の場合-	39	1991	1-15	
宮本 盛太郎	論説	栗原基主幹『黎明』と栗原の二高の友人たち	37	1989	389-400	杉井六郎教授退職記念号
宮澤 正典	論説	研成義塾の人びと	16, 17	1970	87-118	
宮澤 正典	論説	斎藤茂について-研成義塾の人びと(二)-	21	1973	8-47	特集 松本平におけるキリスト教II
宮澤 正典	論説	1930年代の-キリスト教主義女学校-同志社高等女学部の状況-	25	1976	108-141	
宮澤 正典	論説	キリスト者の戦時下日記-手塚縫蔵と森下二郎について-	30	1982	455-475	
宮澤 正典	研究ノート	森下二郎-校長辞任の問題-	31	1983	189-205	
宮澤 正典	論説	排耶蘇と嫌耶蘇	37	1989	179-188	杉井六郎教授退職記念号
宮澤 正典	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	131-132	
望田 幸男	論説	ワイマル期中等教育の理念と現実	37	1989	789-804	杉井六郎教授退職記念号

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
森 章 博	論説	明治教育思想の再検討	11	1967	74-89	
森 章 博	論説	明治20年代における徳富蘇峰の教育観	12	1968	27-52	特集 民友社の研究
森 章 博	論説	徳富蘇峰の教育理念－『国民の友』の教育論を中心に－	37	1989	339-354	杉井六郎教授退職記念号
森 川 眞 規 雄	論説	「多文化社会」カナダの移民教会－日系人・中国人教会－	41	1992	11-28	特集 カナダ日系社会とキリスト教会
守 屋 茂	論説	留岡幸助と報徳思想	28	1980	29-51	留岡幸助研究特集
本 井 康 博	論説	国民性の形成とカルヴィニズム－マックス・ウェーバーの社会教育論－	37	1989	805-818	杉井六郎教授退職記念号
本 井 康 博	論説	「バーム・バンド」の生成と分解－越後におけるプロテスタント教会の形成－	38	1990	202-236	
本 井 康 博	研究ノ ート	同志社演説会－キリスト教と仏教 1880年～1881年－	39	1991	98-127	
本 井 康 博	論説	新島襄とJ・H・デフォレスト－ラットランドから仙台へ－	42	1993	56-82	
本 井 康 博	論説	内村鑑三、松村介石、そしてアメリカン・ボード－二つの「北越学館事件」－	44	1995	1-25	
本 井 康 博	研究ノ ート	京都博覧会とアメリカン・ボード－京都ステーション（同志社）への道－	45	1996	100-139	
本 井 康 博	研究ノ ート	新島襄と教会合同運動－新島書簡に基づいて－	47	1998	136-162	
本 井 康 博	論説	同志社と学農社	49	2000	100-121	
本 井 康 博	研究ノ ート	新島襄と津田仙	50	2001	95-116	
本 井 康 博	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	133-135	
村 山 幸 輝	論説	明治の児童観と留岡幸助	24	1976	133-173	
村 山 幸 輝	論説	自由民権期における留岡幸助－近代日本における－社会事業家の平民主義形成をめぐる－	26	1977		
村 山 幸 輝	論説	留岡幸助と慈善問題－近代日本における社会事業実践の一構造とその倫理－	28	1980	96-125	留岡幸助研究特集
村 山 幸 輝	論説	明治社会と留岡幸助のペスタロッツ論－近代日本思想史における留岡幸助のペスタロッツ論の意義を探る－	30	1982		
村 山 幸 輝	論説	留岡幸助の二宮尊徳論	33	1985	30-75	
村 山 幸 輝	論説	『社会廓清論』の世界－山室軍平の廃娼論－	37	1989	453-468	杉井六郎教授退職記念号
村 山 裕 三	論説	カナダ移民における県別移民率、地理的パターン、及び職業選択の統計分析、1890～1925年	41	1992	148-168	特集 カナダ日系社会とキリスト教会
室 田 保 夫	研究ノ ート	丹波第一教会時代の留岡幸助	26	1977	163-192	

C S 執筆別総目次

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
室田保夫	論説	空知集治監時代の留岡幸助－感 化事業の原点－	28	1980	126-174	留岡幸助研究特集
室田保夫	論説	八濱徳三郎研究序論－明治期を 中心にして－	30	1982	277-304	
室田保夫	論説	戦前の「ときのこゑ」覚え書	37	1989	433-452	杉井六郎教授退職 記念号
室田保夫	論説	大家素小論－その生涯と思想－	40	1992	1-36	
室田保夫	論説	留岡幸助と巣鴨家庭学校の創設	42	1993	83-126	
室田保夫	論説	石井十次と東洋救世軍	46	1998	95-131	
室田保夫	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	135-136	
長門谷洋治	論説	佐伯理一郎『日誌抜萃』につい て	37	1989	325-338	杉井六郎教授退職 記念号
中 皓	論説	『国民之友』の和歌論	12	1968	72-86	特集 民友社の研 究
仲村 研	論説	『徼陽学人文稿』について－明 治中期同志社一学生の論文集－	37	1989	101-118	杉井六郎教授退職 記念号
西田 毅	論説	中島重におけるラスキン政治理 論の受容	30	1982	378-397	
西田 毅	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	137-139	
西村 豁	論説	山川均と労働運動－大正時代を 中心として－	2	1958	19-26	山川均特集
小田切明德	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	139-141	
小倉 襄二	論説	廃娼論の輪郭－山室軍平の主張 と背景－(1)	6	1962	34-54	
小倉 襄二	論説	「戦時下抵抗の研究」について	9	1965	1-2	「戦時下抵抗の研 究」特集
小倉 襄二	論説	キリスト者の社会事業実践と戦 時厚生事業－抵抗の挫折につい て－	10	1966	107-129	「戦時下抵抗の研 究」特集
小倉 襄二	論説	廃娼の思想－山室軍平・『社会 廓清論』を中心に－	30	1982	244-255	
小倉 襄二	論説	“烙印”と福祉史	37	1989	521-534	杉井六郎教授退職 記念号
小倉 襄二	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	143-144	
大橋 松行	論説	生活感覚と平和認識－逗子の市 民運動が教えるもの－	37	1989	651-666	杉井六郎教授退職 記念号
沖田 行司	論説	『六合雑誌』における井上哲次 郎	30	1982	200-219	
沖田 行司	論説	伝統主義における移民及び移民 教育論－志賀重昂の場合－	33	1985	1-29	
沖田 行司	論説	海外移民の教育史的研究－「布 哇殖民新聞」の教育記事を中心 として－	35	1987	75-103	
沖田 行司	論説	異文化における日本教育－反日 本語学校論の形成－	43	1994	1-29	
奥村 直彦	論説	W.M. ヴォーリズの思想構造 －「近江ミッション」成立期を 中心に－	30	1982	326-354	

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
奥村直彦	論説	W.M.ヴォーリズの経済思想 -「近江ミッション」の産業的 実験-	31	1983	109-140	
奥村直彦	論説	W.M.ヴォーリズの商業学校教 師時代-二つのAgreementと 教師解任事件を中心に-	33	1985		
奥村直彦	論説	日本明治移民会社について-初 期移民会社の一事例-	34	1986	66-102	海外移民研究特集
奥村直彦	論説	近江ミッション「共同納骨塔事 件」-昭和初期の地域行政訴訟-	35	1987	104-144	
奥村直彦	論説	第二次大戦期のW・M・ヴォ ーリズ-日本帰化をめぐる-	37	1989	259-282	杉井六郎教授退職 記念号
奥村直彦	論説	近江ミッションと「ガリラヤ 丸」伝道	38	1990	162-201	
奥村直彦	論説	ヴァンクーパー日本語学校-日 本人移民社会における役割の変 化-	41	1992	131-147	特集 カナダ日系 社会とキリスト教 会
奥村直彦	論説	ヴォーリズ夫妻の教育思想と 「近江ミッション」教育事業の 展開	45	1996	64-99	
奥村直彦	論説	ヴォーリズの系譜-『失敗者の 自叙伝』における系譜の検証と 補正-	48	1999	1-22	
奥村直彦	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	144-146	
大江真道	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	141-142	
大下角一	論説	徳富蘆花特集 創刊のことば	1	1958	1	
大下尚一	論説	フィリップス・アカデミー創設 の背景	37	1989	53-66	杉井六郎教授退職 記念号
太田雅夫	論説	星島二郎と『大学評論』-大正デ モクラシーとの関連において-	11	1967	116-168	
太田雅夫	論説	大正期におけるデモクラシー訳 語考	13	1968	34-68	特集 大正期の研 究
太田雅夫	論説	第一次世界大戦をめぐる非戦論 -キリスト者・社会主義者を中 心として-	14.15	1969	94-129	
太田雅夫	論説	吉野作造と大学普及運動	16.17	1970	119-142	
太田雅夫	資料	吉野作造年譜	16.17	1970	216-230	
太田雅夫	論説	社会主義協会の運動-平民社と の関連を中心として-	37	1989	717-734	杉井六郎教授退職 記念号
太田雅夫	論説	原田助とハワイ大学	46	1998	179-229	
太田雅夫	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	146-148	
尾崎ムゲン	論説	『六合雑誌』と浮田和民	30	1982	166-181	
佐伯友弘	論説	宗教法案の教育史的意義につ いて	37	1989	205-218	杉井六郎教授退職 記念号
佐伯友弘	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	149-150	
坂口満宏	論説	国際協調型平和運動-『大日本 平和協会』の活動とその史的位 置-	33	1985	115-142	



C S 執筆者別総目次

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
坂口満宏	資料	アメリカ西北部日本人移民年表(1)－『大北日報』にみる日本人キリスト教会－	34	1986	179-240	海外移民研究特集
坂口満宏	論説	幕末維新期の排耶論	37	1989	133-152	杉井六郎教授退職記念号
坂口満宏	資料	アメリカ西北部日本人移民年表(2)－『大北日報』にみる日本人キリスト教会－	39	1991	128-164	
坂口満宏	論説	ヴァンクーバーの日本人健康相談所	41	1992	91-103	特集 カナダ日系社会とキリスト教会
坂口満宏	資料	アメリカ西部日本人移民年表(3)－『大北日報』にみる日本人キリスト教会－	42	1993	173-212	
坂口満宏	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	150-151	
坂本武人	論説	丹波地方における基督教の受容(四)－田野村を中心として－	8	1964	49-75	
坂本清音	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	151-153	
坂本武人	論説	民友社と家庭雑誌	11	1967	1-24	
坂本武人	論説	安部磯雄の婦人論	13	1968	92-122	特集 大正期の研究
坂本武人	論説	徳富蘇峰の婦人論(上)	18	1971	194-217	特集 民友社の研究
阪田安雄	論説	19世紀後半にアメリカに渡航した日本人と「移民統計」－偽る数字－	38	1990	51-102	海外移民研究特集
佐野安仁	論説	一柳満喜子の教育観	30	1982	355-377	
佐野安仁	論説	明治初期の日曜学校－揺籃期の特色－	31	1983	29-76	
佐野安仁	論説	『七一雑報』から見た松本伝道	32	1984	37-67	
佐野安仁	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	154-155	
和田洋一・佐々木敏二	資料	昭和十二・三年におけるキリスト教運動－内務省警保局『社会運動の状況』による－	8	1964	114-141	
佐々木敏二	論説	日華事変下のプロテスタント教会－抵抗と文化－	9	1965	16-44	戦時下抵抗の研究特集
和田洋一・佐々木敏二	資料	昭和十四年におけるキリスト教運動－内務省警保局『社会運動の状況』による－	9	1965	97-129	
佐々木敏二	論説	治安維持法改悪とキリスト教会－国体否定と神宮・皇室の尊厳冒瀆－	10	1966	39-77	「戦時下抵抗の研究」特集
和田洋一・佐々木敏二	資料	昭和十五年におけるキリスト教運動－内務省警保局『社会運動の状況』による－	10	1966	155-193	
佐々木敏二	資料	昭和十六年におけるキリスト教運動(1)－内務省警保局『社会運動の状況』による－	11	1967	244-268	
佐々木敏二	資料	昭和十六年におけるキリスト教運動(2)－内務省警保局『社会運動の状況』による－	12	1968	141-176	

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
佐々木敏二	論説	「新人会（前期）」の活動と思想	13	1968	145-200	特集 大正期の研究
佐々木敏二	研究ノート	山本宣治研究(1)－青年時代の生活と思想形成過程－	14,15	1969	213-252	
佐々木敏二	資料	昭和十七年におけるキリスト教運動(1)－内務省警保局『社会運動の状況』による－	14,15	1969	253-290	
佐々木敏二	研究ノート	山本宣治研究(2)－生物学研究と『人生生物学』－	16,17	1970	143-176	
佐々木敏二	資料	昭和十七年におけるキリスト教運動(2)－内務省警保局『社会運動の状況』による－	16,17	1970	181-215	
佐々木敏二	論説	『国民之友』における社会問題論	18	1971	138-193	特集 民友社の研究
佐々木敏二	論説	カナダ初期移民社会と日本人美以教会	29	1981	28-78	
佐々木敏二	論説	明治二十年代の平和運動(一)－日本平和会書記加藤万治小論－	30	1982	88-111	
佐々木敏二	論説	榎本武揚の移民奨励策とそれを支えた人脈	37	1989	535-550	杉井六郎教授退職記念号
佐々木敏二	論説	横浜移民合資会社のカナダ移民送出－1893年～1894年－	38	1990	1-50	海外移民研究特集
佐々木敏二	論説	カナダ日本人会の民主化と河相領事による干渉	41	1992	63-90	特集 カナダ日系社会とキリスト教会
澤田泰伸	論説	日本に於けるメソヂスト教会の自給について	47	1998	1-29	
関岡一成	論説	海老名弾正における世界主義と日本主義	44	1995	26-48	
関岡一成	論説	『新人』と網島梁川	46	1998	1-24	
関岡一成	論説	小山東助のキリスト教受容	48	1999	125-150	
柴野智子	論説	十九世紀末期アメリカン・ボードの伝道・教育方針の決定	50	2001	31-72	
茂義樹	論説	日本基督伝道会社の独立と海老名弾正	24	1976	83-132	
茂義樹	論説	1930年代のキリスト教ジャーナリズム－『基督教世界』の場合－	25	1976	47-82	
茂義樹	論説	明治初期プロテスタントの神戸伝道とD.C.グリーン	29	1981	79-113	
茂義樹	論説	『七一雑報』における日本基督伝道会社	30	1982	36-61	
茂義樹	論説	シドニー・キューリックについて－排日法案をめぐる－	34	1986	1-35	海外移民研究特集
茂義樹	論説	熊本英学校事件をめぐる	37	1989	153-168	杉井六郎教授退職記念号
茂義樹	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	155-156	
嶋田啓一郎	論説	中島重の社会哲学と社会的基督教	5	1961	27-42	内村鑑三生誕百年記念特集
嶋田啓一郎	論説	発展する全体と社会的基督教－中島重とその時代－	14,15	1969	159-187	

C S 執筆別総目次

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
嶋田啓一郎	論説	軍部ファシズムと抵抗の1930年代-弾圧・転向とキリスト者の苦悩-	22	1974	1-21	
嶋田啓一郎	論説	1930年代への道-賀川豊彦の場合-	25	1976	20-46	
嶋田啓一郎	論説	ラスキンと留岡幸助-経済と倫理の接点を求めて-	28	1980	1-28	留岡幸助研究特集
島尾永康	論説	『七一雑報』にみる科学史と自然科学	36	1988	1-50	
島尾永康	論説	自然神学の伝統-同志社英学校所蔵の自然神学書に見る-	37	1989	67-84	杉井六郎教授退職記念号
篠田一人	その他	はしがき	3	1959	ページなし	
篠田一人	その他	はしがき	4	1961	ページなし	
篠田一人	その他	はしがき	5	1961	ページなし	
篠田一人	その他	はしがき	6	1962	ページなし	
篠田一人	論説	思想史研究の方法について-序に代えて-	7	1963	1-24	熊本バンドの研究特集
篠田一人	論説	明治以降の日本における宗教の学問的研究の推移	8	1964	76-98	
篠田一人	論説	大正期の文化主義について	13	1968	69-91	特集 大正期の研究
篠田一人	論説	雑誌『基督者』について-手塚縫蔵研究(一)-	20	1972	103-123	
篠田一人	資料	旧制山口高等学校『白陵会誌』	30	1982	496-507	
塩野和夫	論説	『日本組合教会便覧』の統計資料分析とその解明(1)	39	1991	16-49	
塩野和夫	論説	『日本組合教会便覧』の統計資料分析とその解明(2)	40	1992	37-99	
塩野和夫	論説	小崎弘道のキリスト教史関連著作	49	2000	77-99	
塩野和夫	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	157-158	
庄司俊作	論説	協調組合の分析 I	37	1989	749-778	杉井六郎教授退職記念号
杉井六郎	論説	課者報告から見た明治初期外人宣教師の活動-横浜の場合-	3	1959	33-46	明治前半期のキリスト教と社会
杉井六郎	論説	熊本洋学校 実学党の理想教育機関-沿革篇-	4	1961	24-42	熊本バンドの研究特集
杉井六郎	論説	統熊本洋学校-教育篇-	7	1963	143-237	熊本バンドの研究特集
杉井六郎	論説	明治思想史における自由キリスト教提唱の意味	11	1967	25-73	
杉井六郎	論説	徳富蘇峰の吉田松陰論-民友社の明治維新観について-	14, 15	1969	1-48	
杉井六郎	論説	「奉教趣意書」成立に関する若干の考察	16, 17	1970	38-86	
杉井六郎	論説	徳富蘇峰におけるキリスト教	18	1971	27-100	特集 民友社の研究
杉井六郎	論説	「公会名簿」に見る鈴木買一について-初期教会形成期の人びとの個別研究-	20	1972	1-39	

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(一)-譯者豊田道二の耶蘇教徒探索報告書について-	20	1972		
杉井六郎	論説	研成義塾前史と井口喜源治	21	1973	48-98	特集 松本平におけるキリスト教II
杉井六郎校注	資料	井口喜源治の明治二十八・二十九年の日記について	21	1973	99-157	特集 松本平におけるキリスト教II
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(二)	21	1973	158-196	
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(三)「文部省訓令第十二号」とその反響	22	1974	161-196	
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(四)「文部省訓令第十二号」とその反響	23	1975	183-229	
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(五)「文部省訓令第十二号」とその反響(完)	24	1976	174-259	
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(VI)田村直臣の「日本の花嫁」事件(一)	25	1976	218-251	
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(VII)田村直臣の「日本の花嫁」事件(二)	26	1977	193-226	
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(VIII)田村直臣の「日本の花嫁」事件(三)	27	1978	181-225	
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(IX)田村直臣の「日本の花嫁」事件(四)	29	1981	190-239	
杉井六郎	論説	警醒社について	30	1982	62-87	
杉井六郎	資料	日清戦争とキリスト教(一)-『基督教新聞』と『福音新報』を中心として-	31	1983	236-353	
杉井六郎	資料	日清戦争とキリスト教(二)-『基督教新聞』と『福音新報』を中心として-	32	1984	173-214	
杉井六郎	資料	日清戦争とキリスト教(三)-『基督教新聞』と『福音新報』を中心として-	33	1985	196-252	
杉井六郎	研究ノート	組合教会記録にみる海外伝道(1)	34	1986	154-178	海外移民研究特集
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(X)-基督教公許の建白(一)-	35	1987	218-267	
杉井六郎校注	資料	小沢三郎編日本プロテスタント史史料(XI)-基督教公許の建白(二)-	36	1988	262-302	
杉井六郎	論説	ジョージ・ミュラーと新島襄	37	1989	1-15	杉井六郎教授退職記念号
杉井六郎	資料	宮川経輝日記の「原形」	45	1996	176-191	

C S 執筆別総目次

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
住 谷 悦 治	論説	蘆花瞥見	1	1958	2-6	徳富蘆花特集
住 谷 悦 治	論説	大正デモクラシーと山川均—大山郁夫、吉野作造批判を中心として—	2	1958	10-18	山川均特集
住 谷 悦 治	論説	明治キリスト教徒の社会主義思想(1)—村井知至の「社会主義」について—	6	1962	1-20	
住 谷 馨	論説	留岡幸助と非行問題	28	1980	52-76	留岡幸助研究特集
住 谷 馨	論説	『留岡幸助著作集』編纂と同和問題	37	1989	503-520	杉井六郎教授退職記念号
住 谷 馨	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	159-160	
田 畑 忍	論説	内村鑑三の戦争と平和にかんする政治思想	5	1961	1-9	内村鑑三生誕百年記念特集
田 畑 忍	論説	吉野作造の平和論	6	1962	21-33	
田 畑 忍	論説	中島重博士の国家論	8	1964	1-23	
田 畑 忍	論説	徳富蘇峰の生涯と政治思想	12	1968	1-26	特集 民友社の研究
田 畑 忍	論説	徳富蘇峰初期の政治思想—明治二十年前後の論著、とくに『将来之日本』に見られる其の平民主義・平和主義について—	14.15	1969	49-71	
高 橋 虔	論説	日本の近代化とキリスト教	4	1961	1-7	熊本バンドの研究特集
高 橋 虔	論説	金森通倫論	7	1963	49-53	熊本バンドの研究特集
高 橋 虔	資料	日本組合基督教会年表(前編)	16.17	1970	231-277	
高 橋 虔	論説	英文国民之友について	18	1971	101-137	特集 民友社の研究
高 橋 虔	資料	日本組合基督教会年表(後編)	18	1971	219-296	
高 橋 虔	資料	日本組合基督教会年表(3訂正と加筆、参考文献)	20	1972	147-173	
高 橋 虔	論説	井口喜源治の聖書解釈について	21	1973	1-7	特集 松本平におけるキリスト教II
高 橋 虔	資料	日本組合基督教会年表(4)	30	1982	542-564	
高 橋 虔	論説	組合教会について	37	1989	283-290	杉井六郎教授退職記念号
高 久 嶺 之 介	論説	1907年公式令の制定意図について	37	1989	735-748	杉井六郎教授退職記念号
高 道 基	論説	儒教主義との対決—小崎弘道の「政教新論」—	3	1959	47-52	明治前半期のキリスト教と社会
高 道 基	論説	浮田和民—明治思想史を背景として—	4	1961	57-70	熊本バンドの研究特集
高 道 基	論説	熊本バンドと新神学問題(覚え書)	7	1963	91-113	熊本バンドの研究特集
高 道 基	論説	ファシズム体制下の宗教—宗教団体法の成立をめぐる—	9	1965	45-56	戦時下抵抗の研究特集
高 道 基	書評	辻橋三郎著『近代文学者とキリスト教思想』	16.17	1970	177-180	

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
高嶋祐一郎	論説	カナダ・メソジスト教会の日本宣教方針の形成-C・S・イビーの活動方針を手がかりとして-	40	1992	100-135	
高屋定国	論説	山川均の「方向転換論」に関する一考察	2	1958	27-37	山川均特集
高屋定国	資料	山川均著作目録	2	1958	38-58	山川均特集
高屋定国	論説	Growth of Marxism in Japan -with special reference to "Yamakawa-ism" in 1920's.-	6	1962	100-104	
高屋定国	資料	キリスト教社会問題研究会と私	30	1982	527-541	
武邦保	論説	「社会的基督教」における中島重	20	1972	40-74	
武邦保	論説	社会的基督教と弁証法-バルト思想との関連-	22	1974	22-50	
武邦保	論説	海老名弾正の戦争論	23	1975	44-82	
武邦保	論説	「学生キリスト教運動(S・C・M)」の思想と行動	26	1977	40-70	
武邦保	論説	「六合雑誌」にあらわれた原田助-その近代化倫理に触れて-	30	1982	147-165	
武邦保	論説	雑誌「社会的基督教」の一研究	37	1989	243-258	杉井六郎教授退職記念号
竹居明男	論説	日欧交渉史資料拾遺-「珍藏展覧会目録」と「開国小史」-	37	1989	677-690	杉井六郎教授退職記念号
竹中正夫	論説	岡山県における初期の教会形成	3	1959	1-32	明治前半期のキリスト教と社会
竹中正夫	論説	The Impact of Kagawa and his movement	6	1962	55-99	
竹中正夫	論説	海老名をとらえる視点-海老名の神学思想についての一考察-	23	1975	28-43	
竹中正夫	論説	明治期における岡山・倉敷の信徒の交わり	26	1977	1-39	
竹中正夫	論説	倉敷の信徒父子-菓子商浅野義八と息子恵二-	29	1981	1-27	
竹中正夫	論説	人間と文化-「六合雑誌」における内ヶ崎作三郎-	31	1983	1-28	
竹中正夫	論説	ナタナエルの信仰-エキュメニカル運動における小崎道雄-	32	1984	1-36	
竹中正夫	論説	初期の同志社と松山の人びと	36	1988	51-91	
竹中正夫	論説	田中正造の聖書観	37	1989	355-370	杉井六郎教授退職記念号
竹中正夫	その他	序文	41	1992	1-2	特集 カナダ日系社会とキリスト教会
竹中正夫	論説	カナダ日本人合同教会のリーダーシップ-赤川美盈と清水小三郎-	41	1992	5-10	特集 カナダ日系社会とキリスト教会
竹中正夫	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	161	
武内善信	論説	ユニテリアン社会主義者小笠原誉至夫と南方熊楠	37	1989	621-634	杉井六郎教授退職記念号

C S 執筆者別総目次

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
田 中 和 男	論説	「地方改良」と留岡幸助ーその思想と行動をめぐってー	28	1980	175-205	留岡幸助研究特集
田 中 和 男	論説	明治・大正期キリスト者のイエス像(上)ー「イエス・弟子・民衆」理解を中心にー	35	1987	145-174	
田 中 和 男	論説	明治・大正期キリスト者のイエス像(下)ー「イエス・弟子・民衆」理解を中心にー	36	1988	208-261	
田 中 和 男	論説	酒と健康ーどうして酒はやめるべきかー	37	1989	469-486	杉井六郎教授退職記念号
田 中 和 男	論説	石井十次を支えた人々ー石田祐安と東洋伝道会ー	45	1996	28-63	
田 中 和 男	論説	石井十次を支えた人々ー石田祐安と東洋伝道会ー	45	1996	28-63	
田 中 和 男	論説	明治中期における少年非行への対応ー石井十次と留岡幸助の「実践」の意義ー	46	1998	132-178	
田 中 真 人	論説	合法地方無産政党論(1928-1930)ー京都・労農大衆党を中心にー	25	1976	142-186	
田 中 真 人	研究ノート	モップルと日本赤色救援会	27	1978	134-169	
田 中 真 人	論説	ギルド社会主義と中島重	30	1982	398-415	
田 中 真 人	論説	日本反帝同盟の研究ー共産主義運動と平和運動ー	35	1987	175-217	
田 中 真 人	論説	天皇の代替わりと地域社会ー京都における1928年の「奉祝記念事業」ー	37	1989	231-242	杉井六郎教授退職記念号
田 中 真 人	論説	山川均らの「青年之福音」事件とキリスト教界	43	1994	116-133	
田 中 真 人	資料	村井知至ー「社会主義」以後ー	45	1996	166-175	
田 中 真 人	論説	石井十次の天皇観・国家観	46	1998	74-94	
田 中 真 人	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	162-163	
田 中 峰 雄	論説	十四才か 十九才かー中世パリ大学における学位取得の年齢をめぐってー	37	1989	779-788	杉井六郎教授退職記念号
田 中 良 一	論説	熊本バンドと同志社	4	1961	71-78	熊本バンドの研究特集
田 中 良 一	資料	奉教趣意書	4	1961	79	熊本バンドの研究特集
寺 崎 暹	研究ノート	安部清蔵の生涯と信仰	31	1983	206-235	
寺 崎 暹	論説	清水安三と中国ー「基督教世界」を廻ってー	40	1992	136-187	
留岡幸助著作集編集委員会	その他	「留岡幸助著作集」について	35	1987	268-269	
豊田勝儀作成・土肥昭夫校閲	資料	内村鑑三年譜	5	1961	43-53	内村鑑三生誕百年記念特集
辻 橋 三 郎	論説	蘆花とキリスト教	1	1958	7-23	徳富蘆花特集
辻橋三郎・平林一	資料	年譜	1	1958	37-40	徳富蘆花特集

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
辻橋三郎	論説	「奉教趣意書」について—その成立と精神—	4	1961	43-56	熊本バンドの研究特集
辻橋三郎	論説	熊本バンドの国家主義的傾向—「教育勅語」周辺における—	7	1963	115-142	熊本バンドの研究特集
辻橋三郎	論説	「人民文庫」の意味—五年戦争の流れのなかで—	9	1965	57-79	戦時下抵抗の研究特集
辻橋三郎	書評	小笠原克著『島木健作』	10	1966	145-150	
辻橋三郎	論説	国木田独歩と民友社—政治の問題—	12	1968	53-71	特集 民友社の研究
辻野功	論説	明治期の片山潜	11	1967	217-243	
辻野功	論説	極東勤労者大会について—日本問題を中心にして—	13	1968	201-220	特集 大正期の研究
辻野功	研究ノート	安部磯雄の家庭論	20	1972	124-146	
辻野功	論説	日本共産党はファッショムの台頭をなぜ阻止できなかったのか—戦略規定上の問題点	22	1974	83-113	
辻野功	論説	石川三四郎—海老名弾正との関連において—	23	1975	83-115	
辻野功	論説	『六合雑誌』における片山潜	27	1978	76-97	
辻野功	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	163-165	
露口卓也	論説	吉田松陰—トナー評定所の訊問について—	37	1989	313-324	杉井六郎教授退職記念号
内村鑑三	資料	内村鑑三未発表資料《論説》警世の発刊に際して友人松村君に告ぐ《書簡》	5	1961	54-58	内村鑑三生誕百年記念特集
和田洋一	論説	蘆花とキリスト教的ヒューマニズム	1	1958	34-36	徳富蘆花特集
和田洋一	論説	内村鑑三、その弟妹、そして私	5	1961	21-27	内村鑑三生誕百年記念特集
和田洋一	論説	一九三七年夏の同志社チャペル箆城事件	8	1964	99-113	
和田洋一・佐々木敏二	資料	昭和十二・三年におけるキリスト教運動—内務省警保局『社会運動の状況』による—	8	1964	114-141	
和田洋一	論説	植村正久と日本の国家権力—キリスト教徒の戦争協力と非協力を理解するために—	9	1965	3-15	戦時下抵抗の研究特集
和田洋一・佐々木敏二	資料	昭和十四年におけるキリスト教運動—内務省警保局『社会運動の状況』による—	9	1965	97-129	
和田洋一	論説	キリスト者の受難と抵抗	10	1966	1-13	戦時下抵抗の研究特集
和田洋一・佐々木敏二	資料	昭和十五年におけるキリスト教運動—内務省警保局『社会運動の状況』による—	10	1966	155-193	
和田洋一	論説	日本・カトリック 30年代前半の苦悩	25	1976	1-19	
和田洋一	論説	湯浅八郎と新島襄との比較	30	1982	416-430	



C S 執筆別総目次

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
和田 洋一	論説	抑圧するものとされるもの	37	1989	835-845	杉井六郎教授退職記念号
山川 均	論説	私の歩んだ道(講演要旨)	2	1958	1-9	山川均特集
山本 明	論説	大正末期の無産階級新聞論争をめぐってー日本ジャーナリズム論史ノート(1)ー	14, 15	1969	130-158	
山本 幸規	論説	山路愛山と基督教ー明治20年代を中心としてー	26	1977	102-162	
山本 幸規	研究ノート	『人道』ーその書誌的素描ー	28	1980	206-236	留岡幸助研究特集
山本 幸規	論説	静岡藩お雇い外国人教師E.W.クラークー静岡バンド成立の背景ー	29	1981	114-154	
山本 幸規	資料	幕末御儒者のキリスト教観ー安積良斎「洋外紀略」にみるー	30	1982	476-495	
山本 幸規	論説	安井息軒の『辯妄』と明治初年のキリスト教界	32	1984	68-128	
山本 幸規	研究ノート	山路愛山と日本メソヂスト教会	33	1985	143-195	
山本 剛郎	論説	日系アメリカ人コミュニティの成立過程	37	1989	585-600	杉井六郎教授退職記念号
山本 剛郎	論説	フレージャーバレー地域における日本人コミュニティの形成・発展過程	41	1992	104-130	特集 カナダ日系社会とキリスト教会
安田 寛	研究ノート	L・W・メーソンの再来日計画とアメリカン・ボード日本ミッション	44	1995	105-127	
安田 寛	論説	アメリカン・ボード・日本ミッション音楽教育史	46	1998	25-73	
安田 寛	論説	京都と神戸ステーションの音楽教育史ーアメリカン・ボード・日本ミッション音楽教育史その二ー	47	1998	30-80	
安田 寛	論説	大阪ステーションの音楽教育史ーアメリカン・ボード・日本ミッション音楽教育史その三ー	48	1999	23-46	
安田 寛	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	166-168	
安武 留美	論説	北カリフォルニア日本人移民社会の日米教会婦人たちー日系一世女性のイメージを再考するー	49	2000	46-76	
安武 留美	その他	(50号記念エッセイ)	50	2001	168-169	
吉田 亮	論説	ハワイアン・ボードの初期日本人移民伝道	30	1982	127-146	
吉田 亮	論説	移民社会とキリスト教ー美山貫一のハワイ日本人移民伝道ー	31	1983	141-188	
吉田 亮	論説	“会衆主義”とハワイ日本人社会	34	1986	36-65	海外移民研究特集
吉田 亮	論説	日本ミッション“支部”としてのハワイ伝道ーO.H.ギューリックとハワイ日本人伝道ー	36	1988	92-146	

執筆者	ジャンル	タイトル	掲載号	発行年	ページ	備考
吉田 亮	論説	カリフォルニア・プロテスタントの教派協調運動と日本人合同教会の設立ー長老、会衆両派の場合ー	37	1989	601-620	杉井六郎教授退職記念号
吉田 亮	論説	カリフォルニア・プロテスタントと日本人移民	38	1990	103-161	海外移民研究特集
吉田 亮	論説	カナダ・メソジスト教会と日本人移民、1890～1917年	41	1992	29-62	特集 カナダ日系社会とキリスト教会
吉田 亮	論説	サンフランシスコ日本人合同教会の設立	42	1993	127-172	
吉田 亮	論説	日本教化のためのカリフォルニア日本人伝道ーE・A・ストージの日本人伝道観の形成ー	43	1994	30-115	
幸 日出 男	論説	日本基督教会(旧)から日本基督教会(新)へ	37	1989	291-312	杉井六郎教授退職記念号
	その他	『キリスト教社会問題研究』総目次(第1号～第14・15号)	14, 15	1969		
	その他	杉井六郎先生経歴・著作目録	37	1989	847-863	杉井六郎教授退職記念号